

## 三重県GIS協議会の概要

日本におけるGISは、阪神・淡路大震災後、長田区の復興活動において、その有効性が注目され最近では防災GISだけでなく、犯罪マップ作成 防犯塔管理、森林管理、道路台帳、課税台帳の管理など、幅広い分野で利用されています。

今後、三重県におけるGISをさらに発展させていくためには、県だけでなく、県内の自治体や地元の中小企業、教育研究期間による地理情報化された地域情報とその流通が非常に重要です。これらの情報を、県・市町村のみ、研究機関のみ利用するのではなく、県民の生活に役立てたり県民の声を活かしていくためには、GISは非常に有効な手段です。

このようなGISを取り巻く背景の中で、ライフライン系企業である『株式会社百五銀行』、『中部電力株式会社三重支店』、『東邦ガス株式会社』、『西日本電信電話株式会社三重支店』、『株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー東海三重支店』、の5社は、民間企業で構成する「三重県GIS協議会」を平成13年10月19日に発足させました。

## 三重県GIS協議会の活動目的

- 1) 行政が保有する空間情報の共有・有効利用による社会的コストの低減
- 2) 企業内利用における業務の効率化・高速化・高度化・低コスト化
- 3) 企業間における円滑な空間情報の流通
- 4) 電子政府、電子申請の基盤
- 5) GISを中心とした、地域情報交流プラットフォームの整備

### GISの普及・啓発、GISに関する情報交流

一般の方にGISの有効性を広く認識していただくため、GISに関するセミナー・講演会などを開催します。また、異業種交流会などを開催することにより、相互の情報を交換、産官学民の連携、異業種間の連携を図ります。

### GIS・情報化に関する勉強会(作業部会)

GISを利用するためには、GISがどのようなものなのか？、GISを構築するには何に注意すべきなのか？などを、検討する必要があります。そのためにも、GISを含めたITに関する最新の情勢について勉強する機会を作ります。

### GIS活用の研究、学術分野との連携

行政が整備を進めている空間データ基盤に準拠した空間情報を、企業の業務適用し、実用性・利用手法などを検証・研究します。また大学研究機関との連携により、GISの専門的な知識の収集や、高度利用に関する検討を実施します。

## これまでの活動

平成13年10月に発足以来、年に1～2回GISに関するセミナーを開催しております。

平成15年度からは、三重県様とともに、「三重県GIS実証実験」を開始し、三重県をフィールドとした先進的なGIS活用方法をご報告いただいております。実証実験については、毎年報告会を行っており、県内・県外から多くの皆様にご参加いただいております。

三重県GIS実証実験ホームページ：

[http://www.miegis.com/gis\\_exp/](http://www.miegis.com/gis_exp/)

### ■ 実証実験参加状況 (資料参照)

- ・平成15年度 新規24件
- ・平成16年度 新規7件 + 継続11件
- ・平成17年度 新規11件 + 継続2件

